

京都建設技術フェア

関係者500人余りが来場

IT関連、新技術をPR

京都サンダー

京都サンダー(天親 恭子代表取締役)は6月26日、建設技術フェア「ITでひらがる未来」に京都を主催した。会場となった左京区岡崎のみやこめッセ京都市勤業館には、500人余りが来場。建設IT関連と新工法、新技術の展示を行うとともに、近畿地方整備局等から講師が



開会に挨拶する天親代表

招かれ、建設産業の現状と将来を展望する講演会が行われた。今回のフェアは、拡大する情報化施工の対応支援と、地元業者の取り組みを紹介するため、地域密着サービスを掲



500人余りで賑わった京都建設技術フェア

げる京都サンダーが創立36周年を契機に企画した。

開会に挨拶した天親代表は「日頃のサポート業務を通じて、建設の素晴らしさをこの京都の地から発信していきたい、という夢を持っていきます。そのためにも微力ですが、地元に着目したきめ細やかなサービスを、ITを通じて、建設業界の更なるイメージアップや良い関係を作り出すお手伝いをさせていただきます。」と述べた。

フェアでは、企業展示や建設事業講演会、特別セミナーを開催するとともに、京都市上下水道局100周年パネル展、NETIS体験コーナー、フェイスブックコーナーなど、多彩な企画が繰り広げられた。

特別セミナーは、総合評価方式をテーマに、「土木技術者が学ぶべき積算」(株)建設施工学アカデミー・出貝裕氏、「なぜ、簡易型情報化施工なのか」(エコモット)・花田浩二氏、「建設業におけるBCP(事業継続計画)の事例」(川田テクノシステム)・曾田テノシシステム・曾田テノシ氏の3セミナーが開かれた。

建設事業講演会は、国交省近畿地方整備局の大西博技術調整管理官と、山本技術士事務所

の山本代表



山本技術士事務所 山本代表



近畿整備局の大西技術調整管理官



講演会・セミナーが開かれ建設関連ITの理解を深めるとともに、建設産業の今後を考えた

山本剛代表(近畿地方整備局技術調整管理官)が講師を務めた。

大西技術調整管理官は「近畿地方整備局における入札契約に関する最近の話題」と題し、23年度と今年度に行われている低入札対策を中心とした入札契約制度の改正内容を解説した。

建設ITコンサルタント業務に関しては、低入札受注時の条件付け強化が行われ、表彰対象外とするなどの対策が行われ、大西技術調整管理官は「これら対策の意味受注し、品質を確保してもらいたい」とした。

山本代表は「災害の歴史に学ぶ、教訓の継承」と題し、日本で発生した記録に残る大災害を解説。近畿地方整備局テックフォーラム隊長と

して参加した東日本大震災については「地元建設企業は、がれきで埋ま

ばならない」とし、防潮や耐震化の重要性を語った。

展示会は▽(株)アイジェエスエフあっとクリエーション(株)▽エコモット(株)▽NECファイナルディング(株)▽川田テクノシステム(株)▽技研トラステム(株)▽倉敷紡績(株)▽建設施工学アカデミー(株)▽星ノ南サイバー・シビル▽(株)シャープ松山オー

エー▽(株)スギテック▽(株)スリーエース▽(株)セキユリテイハウス▽テクノ・プロ▽パナソニック▽サルタント(株)▽藤原事務所▽村田機械(株)▽石川建設▽西本建設(株)▽協栄建設(株)が展示した。

エコモット(株)(札幌市)は、技術提案や創意工夫といった総合評価方式での加点を狙える

赤外線劣化診断技術等を紹介したスギテック

西本建設ではストリートプリント」を紹介



「アステール」を紹介した石川建設



移動型建設発生土有効利用システム「土環くん」を紹介した協栄建設



情報化施工を強力にサポートする建設現場遠隔監視システム「現場ロイドサービス」を展示した。

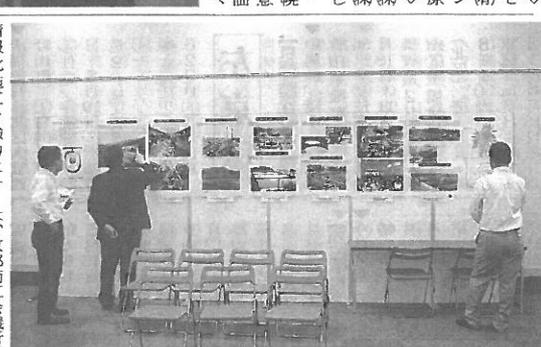
倉敷紡績(大阪市)は、2枚のデジタル画像から3次元座標データを求め、計測・測量分野、調査・研究用途で幅広く利用可能な三次元写真応用計測システム「KURAVES・MD」を展示した。

(株)スギテック(右京区)は、赤外線法による外壁劣化診断技術やひび割れ画像診断法などを紹介し、既設構造物の維持管理の合理化、低コスト化を提案した。

(株)昭建(天津市)では、NETIS登録技術の幅広吹付工法を展示。大幅な工期短縮、施工コスト削減、構造物の延命長寿命化を提案した。

(株)伏見区は、既設(または新設)のアスファルト舗装を撤去することなくレンガ・ブロック敷や石畳調の見た目に変え、メンテナンス性・コスト性に優れた「ストリートプリント」を紹介した。

協栄建設(伏見区)は、残土処分されていた質の悪い土を、良い土と混ぜ、再利用する移動型建設発生土有効利用システム「土環くん」(NETIS登録技術)を紹介。高い施工性と環境性能をアピールした。



京都市上下水道局の100周年を記念したパネル展も行われた